

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 水 5	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーションⅡ (English Communication Ⅱ)		
対象年次 1 年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) Tg	科目分類	外国語科目(英語)	
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:中村 吏花 /Eメールアドレス:arthur410@hotmail.co.jp /研究室:非常勤講師控室 /オフィスアワー:水曜昼休み			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい:英語の 4 技能を総合的に向上させる。フレーズリーディングの訓練をする。コミュニケーションだけでなく、TOEIC や TOEFL などにも役立つ基本的な文法を身に付ける。新出語句や表現を習得する。リスニング・リーディング練習をバランスよく行い、英語の音声・英文の構造に慣れる。</p> <p>授業方法:必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。テキスト付属の CD を活用して英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。</p> <p>授業到達目標:基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することが出来る。英語の 4 技能を総合的に向上させる。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要):始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認していく。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるために、テキスト付属の CD を活用して、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。</p> <p>*内容がよくつかめないときは、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところははっきりすると思います。</p> <p>第1回 Introduction, Unit 1~2; Mt. Everest Trash Turned Into Other Men's Treasure/Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans 第2回 Unit 3 Zambian Children Get Their Education Over the Radio 第3回 Unit 4 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee 第4回 Unit 5 U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce 第5回 Unit 6 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace 第6回 Unit 7 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work 第7回 Unit 8 Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts 第8回 Unit 9 Palestinian Rappers Fight Occupation with Music, Not Bombs 第9回 Unit 10 Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air 第10回 Unit 11 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan 第11回 Unit 12 Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World's Best 第12回 Unit 13 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon 第13回 Unit 14 Environmentalists Offer Tips for Happy Green Holidays 第14回 Unit 15 Old Peruvian Music Gets a High-Tech Rebirth 第15回 全授業の総括(試験を含む)</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Message to Our Future (金星堂)1900 円(税別) *第一回目の授業の最初に教室で教科書販売を行います。必ず出席してください。		
成績評価の方法・基準等	定期試験 55%、課題 15%、音読 10%、積極的な授業への参加状況 20%(出席点はありません) *一度も本文の内容説明をしなかった人は、「積極的な授業への参加状況」の配点が 0 点となります。		
受講要件(履修条件)	3 分の 1 以上の欠席で受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。 *教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が出来ていない場合は、出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から 30 分までは遅刻を認めず。それより遅い入室は欠席扱いとします。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参して下さい(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。 予習では、テキスト付属の CD を活用して繰り返し聞き、声に出して読む練習をして下さい。最初のページで音声に慣れ、また意味が確認できたら、次のページの内容確認問題を意識して記事全体を読んでいって下さい。最初に速読、それから精読をしていきましょう。 それから辞書や文法書で内容を丁寧に確認しましょう。		